

「メディア教育研究」（第2巻第1号）の刊行に当たって

独立行政法人メディア教育開発センターでは、平成16年度から「メディア教育研究」を刊行しています。初年度の第1巻は2冊（第1号と第2号）を発行し、特集テーマ寄稿15件、投稿による論文4件、研究資料10件、研究展望3件を掲載することができました。

この度、メディア教育研究（第2巻第1号）ができました。この号の特集テーマは「特集：e-Learningと教材コンテンツ流通に向けて動き始めた組織連携」としており、この関連で先導的な活動を行っている大学やコンソーシアム等の機関から5件の寄稿、およびメディア教育に関する投稿論文2件、研究資料9件、研究展望1件を掲載しています。

ところで、最近我が国においてもe-LearningをはじめとしたITを活用した教育に関する研究開発が多く進められるようになりました。そして、多くの大学等では、他の大学における取り組みに関心を持っており、それを参考にして新たな展開をしようとしておられます。このような状況の中で、研究開発等の成果を発表する場が求められていました。そこで本センターでは平成16年4月に独立行政法人となりましたのを期に「メディア教育研究」を刊行することにし、当該分野の教育研究者との研究成果を共有することとしております。これは、本センターの使命であります「大学等におけるメディアを高度に利用した教育活動に対する支援」の一環と位置づけております。そして、この「メディア教育研究」は、学術研究誌として刊行しており、多様なメディアを高度に利用して行う研究及び開発に関する学術研究上の成果を論文、研究資料、研究展望ならびに研究の動向や展望として掲載することとしています。

本センターとしましては、今後も継続して年に2冊の「メディア教育研究」の刊行をする計画をしていますので、様々な形態での研究成果の公表の場として投稿を期待しております。また、本号のように特集テーマを設定して、そのテーマに関する論文等の投稿と依頼寄稿をお願いしております。この「メディア教育研究」が多くの読者にご活用いただきたいと思います。また、今後ともご支援をいただきたくお願いします。

平成17年10月

独立行政法人メディア教育開発センター
理事長 清水 康 敬